

参考資料1-1

平成26年度短期研修実施計画(3)「参考事項」

① 研修開設の必要性

厚生労働省健康局の「標準的な健診・保健指導の在り方に関する検討会」が作成した研修ガイドラインにおいて、「特定健診・特定保健指導」(高齢者の医療の確保に関する法律第20・24条)を効果的・効率的に運営するために必要な「健診・保健指導」事業の企画、運営及び評価、に関して、必要不可欠な研修を実施することができることを目的とした「リーダー研修」として位置付けられ、平成19年度から「生活習慣病対策健診・保健指導に関する企画・運営・技術研修」を継続して実施してきたところである。

平成20年度から特定健診・保健指導が開始され、制度普及後は事業評価の重要性が増すことから、平成21年度より事業評価に重点をおいた「評価編」を開始した。平成23年度からは、研修内容がより分かりやすいように「広域的事業評価編」と名称変更した。制度の運用が軌道に乗り始めたことから、平成24年度は評価に重点を移すため、「研修計画編」を1日短縮し、「広域的事業評価編」を1日増やした。

平成25年度からは、広域的な評価だけでなく各保険者における事業評価も重視した内容とするため、「事業評価編」と名称変更する。事業の評価を円滑に実施し、事業改善の企画ができる能力をさらに高めることを目的とする。

② 研修のこれまでの実績成果

平成19年度(研修計画編に相当)

第1回 平成19年 5月 9日(水)から11日(金)、3日間 260名

第2回 平成19年 5月23日(水)から25日(金)、3日間 240名

平成20年度(研修計画編に相当)

第1回 平成19年 5月 7日(水)から9日(金)、3日間 169名

第2回 平成19年 5月21日(水)から23日(金)、3日間 152名

平成21年度

平成21年 7月30日(木)から7月31日(金)、2日間 93名

平成22年度

平成22年 5月20日(木)から5月21日(金)、2日間 90名

平成23年度

平成23年 9月29日(木)から9月30日(金)、2日間 73名

平成24年度

平成24年 6月 6日(水)から6月 8日(金)、3日間 73名

平成25年度

平成24年 6月 5日(水)から6月 7日(金)、3日間 68名

③ 対象とする受講生の所属別総数と推定応募者数

所属別総数：300-400名

(1) 都道府県の衛生部門・国保部門で研修の企画立案を担当する者 47x1-2

(2) 保健所設置市及び特別区で研修の企画立案を担当する者 50x1

(3) 医療保険者(国レベル団体及び都道府県支部等)で研修の企画立案を担当する者 47x2+30

(4) 関係団体等(国レベル団体)で研修の企画立案を担当する者 20x1

推定応募者数：70名

④ 研修の継続計画

平成20年度から高齢者の医療の確保に関する法律に基づく「特定健診・特定保健指導」が実施された。特定健診・特定保健指導においては、効率的・効果的に保健指導に従事する人材の育成が重要であり、また包括的な生活習慣病予防対策を効果的に推進する体制の整備が重要である。このため、制度実施前の平成19年度から研修が開始されて毎年継続してきたところであるが、制度普及後は事業評価の重要性が増すことから、「事業評価編」を毎年継続して実施して、人材育成ならびに各都道府県、団体における事業の進捗を把握し、評価することについても支援していく必要がある。また、25年度からの制度の見直しを踏まえた評価および評価支援についても周知する必要があるため、これまでに本研修を受講した者も再受講可とする。

⑤ 研修実施の周知方法、定員をみたく受講生の獲得にむけての計画

国立保健医療科学院から対象団体への案内および厚生労働省健康局総務課保健指導室からの参加依頼。

⑥ 他機関の研修との違い、院内の研修との違い

厚生労働省健康局の「標準的な健診・保健指導の在り方に関する検討会」が作成した研修ガイドラインにおいて、本研修は国が実施する「リーダー研修」として位置付けられている。「研修計画編」が健診・保健指導事業の企画・運営・評価に関して必要不可欠な研修を実施することができることを目標としているのに対して、「事業評価編」は同事業の評価を円滑に実施することができることを目標としている。

参考資料1-2

短期研修実施計画（1）「概要整理様式」改訂版様式

研修名（予算区分）	生活習慣病対策健診・保健指導に関する企画・運営・技術研修（事業評価編） （移し替え）
主任氏名（所属）	〇〇〇〇（〇〇部）
副主任氏名 （所属・役割）	〇〇〇〇（〇〇部：講義・演習の運営担当） 〇〇〇〇（〇〇部：演習の運営担当）
本省関係課（室）	〇〇局〇〇課〇〇室
研修期間	平成26年6月4日（水）から6月6日（金）、3日間
研修方法 （それぞれについて、あてはまる選択肢に○）	1. 開講期間： <input type="checkbox"/> 集中型/ <input type="checkbox"/> 前期後期分離型/ <input type="checkbox"/> その他 2. 遠隔教育採用： <input checked="" type="checkbox"/> なし/ <input type="checkbox"/> 集合前/ <input type="checkbox"/> 中間期/ <input type="checkbox"/> 集合後/ <input type="checkbox"/> その他 3. 講義以外方法： <input type="checkbox"/> なし/ <input checked="" type="checkbox"/> 演習/ <input type="checkbox"/> 研究/ <input type="checkbox"/> 実習/ <input type="checkbox"/> 施設見学/ <input type="checkbox"/> その他 それぞれの内容 演習：「特定健診・特定保健指導の事業評価」計画案作成、都道府県・団体等の単位でグループワーク 4. 演習・研究成果発表： <input type="checkbox"/> なし/ <input type="checkbox"/> 個人/ <input checked="" type="checkbox"/> グループ/ <input type="checkbox"/> その他
定員（前回修了者）	70名（前回25年度修了者数68名）
対象者 受講資格	下記の者のうち、研修時にこれまでに行った事業評価支援または広域的な評価の結果、及び次年度の同計画の提出が可能で、全日程出席できる方。 (1) 都道府県で特定健診・特定保健指導において市町村支援に携わる方 (2) 都道府県等の保険者協議会および地域・職域連携推進協議会等において評価に携わる方 (3) 医療保険者（国レベル団体及び都道府県支部、政令市等）において評価に携わる方
GIO：一般目標 学習終了時に期待される 成果を示したもの	各医療保険者が行う「特定健診・特定保健指導」（高齢者医療法第20・24条）事業の評価を支援するとともに、広域的な評価を実施することができる。
SBOs：到達目標 一般目標を達成したことを示す具体的で評価可能な指標で、学習者は何ができるようになるのか、学習者を主語とした動詞を含む文章で簡潔に記載	1. 保険者が行う「特定健診事業・特定保健指導事業の評価」を支援することができる。 2. 保険者が行う「特定健診事業・特定保健指導事業」を踏まえて、地域（都道府県）レベルでの事業の課題を把握し分析することができる。 3. 地域（都道府県）レベルでの特定健診事業・特定保健指導事業の課題を改善するための支援や、行動計画の検討・企画及び保険者との調整をすることができる。
修了要件	所定の課題を提出し一定の水準を満たしていること。
備考	

参考資料1-3

平成26年度 短期研修実施計画（2）「実施計画表」 生活習慣病対策健診・保健指導に関する企画・運営・技術研修（事業評価編）

平成26年6月4日（水）～6月6日（金）3日間

SBOs	科目及び講義課題	講師名	時間数
1. 保険者が行う「特定健診事業・特定保健指導事業の評価」を、支援することができる。（I～VII） 2. 保険者が行う「特定健診事業・特定保健指導事業」を踏まえて、地域（都道府県）レベルでの事業の課題を把握し分析することができる。（I～III、V） 3. 地域（都道府県）レベルでの特定健診事業・特定保健指導事業の課題を改善するための支援や、行動計画の検討・企画及び保険者との調整をすることができる。（IV、VI、VII）	I. 生活習慣病対策保健事業の評価の考え方	（総論を話せる研究者など）	A1
	II. 生活習慣病対策保健事業の評価のすゝめ方 （1）特定健診データを用いた地域診断 （2）保健指導の効果分析	（実例を示せる研究者など）	A1.5 A1
	III. 健診・保健指導の実施・評価のためのデータ分析 （1）KDBを用いたデータ分析・活用 （2）演習	（具体的な分析データを示せる国保連合会、厚労科研究班）	A1
	IV. 特定保健指導の質の管理と評価	（理論と実例を示せる研究者など）	B1.5 A1
	V. 特定健診・特定保健指導の委託先の質の担保について	（委託先の評価をしている市町村）	A1
	VI. 特定健診・特定保健指導の具体的な事業評価の支援について （1）市町村の事例 （2）都道府県の事例 （3）国保連合会 （4）質疑応答	（市町村国保および市町村国保の支援をしている県や国保連合会）	A3
	VII. 【演習】特定健診・特定保健指導の事業評価の支援計画 1. オリエンテーション 2. グループワーク 3. 発表会	（主任・副主任・他未定）	A0.5 B7
18.5時間（A10・B8.5）			

Aは講義、Bは演習、Cは実験、Dは見学、Eはその他。

参考資料2

平成26年度「短期研修」生活習慣病対策健診・保健指導に関する企画・運営・技術研修(事業評価編)プログラム

1. 研修期間・場所
6月4日(水)～6月6日(金)3日間 国立保健医療科学院

2. プログラム

	時間	持ち時間	内容
1日目 9:45～17:30	9:00～9:30	0:30	受付
	9:30～9:45	0:15	事務連絡
	9:45～9:55	0:10	開講式・オリエンテーション(プログラム説明)
	9:55～10:55	1:00	I. 生活習慣病対策保健事業の評価の考え方 国立保健医療科学院生涯健康研究部 横山徹爾
	10:55～12:25	1:30	II. 生活習慣病対策保健事業の評価のすすめ方 (1) 特定健診データを用いた地域診断 あいち健康の森健康科学総合センター 津下一代
	12:25～13:25	1:00	(昼休み)
	13:25～14:25	1:00	(2) 保健指導の効果分析(リスク因子等の改善について) 国立保健医療科学院統括研究官 今井博久
	14:25～14:45	0:20	(休憩)
	14:45～17:30	2:45	III. 健診・保健指導の実施・評価のためのデータ分析 (1) KDBを用いたデータ分析と分析結果の活用について (2) 演習 国民健康保険中央会 鎌形喜代実 国立保健医療科学院生涯健康研究部 横山徹爾
	17:30～18:30	1:00	情報交換会(自由参加)
2日目 9:30～18:00	9:30～10:30	1:00	IV. 特定保健指導の質の管理と評価 産業医実務研修センター所長 森 晃爾
	10:30～12:00	1:30	V. 特定健診・特定保健指導の委託先の質の担保について 豊島区保健福祉部 上野雅子(45分) 市川市保健スポーツ部 石川慎一(45分)
	12:00～13:00	1:00	(昼休み)
	13:00～15:40	2:40	VI. 特定健診・特定保健指導の具体的な事業評価の支援について (1) 都道府県の事例 40分 静岡県健康福祉部健康増進課 土屋厚子 (2) 国保連の事例 40分 三重県国民健康保険団体連合会 的屋洋子 (3) 国保連+市の事例 25分×2 広島県国民健康保険団体連合会 溝上利枝 廿日市市福祉保健部健康推進課 中村早月 (4) 質疑応答 20分 (途中休憩10分)
	15:40～15:55	0:15	(休憩)
	15:55～18:00	2:05	VII. 【演習】特定健診・特定保健指導の事業評価の支援計画 1. オリエンテーション 川崎千恵 2. グループワーク 「特定健診・特定保健指導の事業評価の支援」計画案作成 (ファシリテーター) 主任、副主任、厚労省
3日目 9:30～16:00	9:30～12:30	3:00	(続き)
	12:30～13:30	1:00	(昼休み)
	13:30～14:05	0:35	(続き)
	14:05～14:20	0:15	(休憩・会場移動)
	14:20～15:30	1:10	3. 発表会と総括 (15分×4つ発表、ファシリテーターから意見・コメント10分)
	15:30～16:00	0:30	評価票の記入 閉講式

参考資料3

ステイブルを外さないで下さい

アンケート【初日】

平成26年度生活習慣病対策健診・保健指導に関する企画・運営・技術研修(事業評価編)

開講期間 平成26年6月4日(水)～6月6日(金)3日間

所属 _____ 職名 _____

職種(資格名) _____

NO. _____ 氏名 _____

本研修を受講するにあたって、以下の設問にお答え下さい。

1. 本研修に応募するにいたる情報収集についてお伺いします。

下記のア～クの選択肢から当てはまる記号を1つ選んで()内にご記入ください。

(1) 本研修を「はじめて知った」のはどの情報ですか。 ()

(2) 本研修に応募する際に「最も参考(決め手)となった」のはどの情報ですか。()

- ア. 募集要項(冊子)
イ. 科学院ホームページ
ウ. 通知
エ. アの募集要項(冊子)以外の案内
オ. 雑誌などの媒体
カ. 科学院の職員
キ. 職場関係者 (①～④の当てはまる番号も選んでください。回答例: キー①)
ク. その他(具体的に: _____)

2. 本研修の一般目標と到達目標に関する知識・技術レベルについて伺います。

あなたの現時点での知識・技術はどのレベルですか。

あてはまる記号を一つ選んで、下記の表の記号を○で囲んでください。

【一般目標】	知識・技術レベル			
	1. 十分にできる	2. 概ねできる	3. 少しはできる	4. できない
各医療保険者が行う「特定健診・特定保健指導」(高齢者医療法第20・24条)事業の評価を支援するとともに、広域的な評価を実施することができる。	1	2	3	4
【到達目標】				
1. 保険者が行う「特定健診事業・特定保健指導事業の評価」を支援することができる。	1	2	3	4
2. 保険者が行う「特定健診事業・特定保健指導事業」を踏まえて、地域(都道府県)レベルでの事業の課題を把握し分析することができる。	1	2	3	4
3. 地域(都道府県)レベルでの特定健診事業・特定保健指導事業の課題を改善するための支援や、行動計画の検討・企画及び保険者との調整をすることができる。	1	2	3	4

【修了時】

本研修はいかがでしたでしょうか。

今後実施する研修の改善のために、参考にさせていただきますので、評価にご協力ください。
また率直なご意見やご希望なども自由にご記入下さい。

1. 本研修の全体的な評価についてお伺いします。

(1) 今回の研修全体の評価(満足度)はいかがでしたでしょうか。	[一つ選んでください]		
	1. とても良かった 2. 概ね良かった 3. どちらかという良かった 4. 良くなかった [理由をお答え下さい]		
(2) 今回の研修は、あなたの業務に役立つと思いますか。	[一つ選んでください]		
	1. とても役に立つ 2. 概ね役に立つ 3. どちらかという役に立つ 4. 役に立たない [理由をお答え下さい]		
(3) 講義・演習・その他の構成はいかがでしたか?	[一つ選んでください]		
	1. とても良かった 2. 概ね良かった 3. どちらかという良かった 4. 良くなかった [具体的に一つ選んでください]		
	講義の割合は、 1. 多かった 2. 良い 3. 少なかった	演習の割合は、 1. 多かった 2. 良い 3. 少なかった	その他(コメント)
	[理由をお答え下さい]		

2. 講義・演習の個別評価について(別紙にご記入下さい。)

3. あなたの現時点での知識・技術はどのレベルですか。

【一般目標】	現時点(研修修了後)の知識・技術レベル			
	1. 十分にできる	2. 概ねできる	3. 少しはできる	4. できない
各医療保険者が行う「特定健診・特定保健指導」(高齢者医療法第20・24条)事業の評価を支援するとともに、広域的な評価を実施することができる。	1	2	3	4
【到達目標】				
1. 保険者が行う「特定健診事業・特定保健指導事業の評価」を支援することができる。	1	2	3	4
2. 保険者が行う「特定健診事業・特定保健指導事業」を踏まえて、地域(都道府県)レベルでの事業の課題を把握し分析することができる。	1	2	3	4
3. 地域(都道府県)レベルでの特定健診事業・特定保健指導事業の課題を改善するための支援や、行動計画の検討・企画及び保険者との調整をすることができる。	1	2	3	4

4. 研修の運営についてお伺いします。

(1) 開催時期について	1. 現状で良い 2. 早い 3. 遅い ⇒ () 月頃へ変更して欲しい。
	理由:
(2) 開催期間・日数について	1. 現状で良い 2. 長い 3. 短い ⇒ () 日間へ変更して欲しい。
	理由:
(3) 開始・終了時間について	1. 現状で良い 2. 時間変更が必要 ⇒ 開始:(時 分) 終了:(時 分)
	理由:
(4) パワーポイント、OHP等について(画質、明るさ等)	1. 良く見えた 2. 見えづらかった(講義・演習名:)
	1) 講義室の温度 1. 暑い 2. やや暑い 3. どちらでもない 4. やや寒い 5. 寒い 2) 講義室の室内環境 1. 良い 2. やや良い 3. 普通 4. やや悪い 5. 悪い 理由(4. やや悪い 及び 5. 悪い の場合)

5. 研修環境についてお伺いします。

(1) 情報統計解析室(3階)について	1. 使用しなかった 使用した(2. 使いやすかった 3. どちらともいえない 4. 使いにくかった) ()
---------------------	--

(2) 図書館について	1. 使用しなかった 使用了 (2. 使いやすかった 3. どちらともいえない 4. 使いにくかった) ()
(3) 食堂について	1. 使用しなかった 使用了 (2. 使いやすかった 3. どちらともいえない 4. 使いにくかった) ()
(4) 寄宿舍について	1. 使用しなかった 使用了 (2. 使いやすかった 3. どちらともいえない 4. 使いにくかった) ()

6. その他、お気づきの点、ご意見やご希望など、ご自由にご記入下さい。

ご協力、ありがとうございました。

2. 講義・演習の個別評価表

講義日:講義・演習名(講師)				
評 価 (該当する項目の番号を記載してください)				
(1) 内容の理解	(2) 講師の教え方	(3) 講義等の資料	(4) プログラムの 必要性	(5) 時間配分
1 よく理解できた 2 だいたい理解できた 3 あまり理解できなかった 4 全く理解できなかった	1 とても良かった 2 概ね良かった 3 あまり良くなかった 4 全く良くなかった	1 とてもわかりやすい 2 だいたいわかりやすい 3 ややわかりにくい 4 とてもわかりにくい	1 是非必要 2 概ね必要 3 あまり必要でない 4 全く必要でない	1 適切だった 2 時間が足りなかった 3 時間が長かった
○月○日 : 1. ○○○				
評価(1)	評価(2)	評価(3)	評価(4)	評価(5)
(1)~(4)の中で4に○をつけた方は、差し支えなければその理由をお聞かせください。				
感想等				
○月○日 : 2. ○○○				
評価(1)	評価(2)	評価(3)	評価(4)	評価(5)
(1)~(4)の中で4に○をつけた方は、差し支えなければその理由をお聞かせください。				
感想等				
○月○日 : 3. ○○○				
評価(1)	評価(2)	評価(3)	評価(4)	評価(5)
(1)~(4)の中で4に○をつけた方は、差し支えなければその理由をお聞かせください。				
感想等				
○月○日 : 4. ○○○				
評価(1)	評価(2)	評価(3)	評価(4)	評価(5)
(1)~(4)の中で4に○をつけた方は、差し支えなければその理由をお聞かせください。				
感想等				
○月○日 : 5. ○○○				
評価(1)	評価(2)	評価(3)	評価(4)	評価(5)
(1)~(4)の中で4に○をつけた方は、差し支えなければその理由をお聞かせください。				
感想等				

参考資料4

<分野小委員会報告用>

平成26年度 短期研修評価報告書

生活習慣病対策健診・保健指導に関する企画・運営・技術研修（事業評価編）

研修主任 ○○○○

副主任 ○○○○、○○○○、○○○○、○○○○

期 間：平成26年 6月 4日（水）～平成26年 6月 6日（金） 3日間

定 員： 70名 応募者数： 00名 受講許可数： 00名

修了者数： 79名（アンケート提出者 79名）

派遣元：都道府県○○名、保険者協議会○○名・・・

受講者の職種：保健師○○名、管理栄養士○○名、事務職○○名・・・

予算事項：①特定課程養成訓練費 ②福祉担当職員研修経費 ③個別研修費 ④本省移し替え予算研修費

【 アンケートの集計と主任のコメント 】

（受講者回答方法：①記名 ②無記名）

1. 研修の一般目標と到達目標に関する知識・技術レベルや期待度について

一般目標⇒ 各医療保険者が行う「特定健診・特定保健指導」（高齢者医療法第20・24条）事業の評価を支援するとともに、広域的な評価を実施することができる。

到達目標1⇒ 保険者が行う「特定健診事業・特定保健指導事業の評価」を支援することができる。

到達目標2⇒ 保険者が行う「特定健診事業・特定保健指導事業」を踏まえて、地域（都道府県）レベルでの事業の課題を把握し分析することができる。

到達目標3⇒ 地域（都道府県）レベルでの特定健診事業・特定保健指導事業の課題を改善するための支援や、行動計画の検討・企画及び保険者との調整をすることができる。

(1) 事前アンケート結果

(2) 事後アンケート結果

	(1) 知識・技術のレベル (79名)					(2) 知識・技術のレベル (79名)				
	1 (十分)	2 (概ね)	3 (少し)	4 (できない)	無回答	1 (十分)	2 (概ね)	3 (少し)	4 (できない)	無回答
一般目標	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
到達目標1	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
到達目標2	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
到達目標3	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%

(3) 事前と事後での知識・技術レベルの変化（自己評価の変化）

	良くなった（上昇）	変化なし	悪くなった（下降）	無回答
一般目標	名(%)	名(%)	名(%)	名(%)
到達目標1	名(%)	名(%)	名(%)	名(%)
到達目標2	名(%)	名(%)	名(%)	名(%)
到達目標3	名(%)	名(%)	名(%)	名(%)

2. 研修の全体的評価について

(1) 満足度について

1. とても良かった	名(%)
2. 概ね良かった	名(%)
3. どちらかという良かった	名(%)

(2) 業務に役立つか

1. とても役に立つ	名(%)
2. 概ね役に立つ	名(%)
3. どちらかという役に立つ	名(%)

4. 良くなかった	名(%)
無回答	名(%)

4. 役に立たない	名(%)
無回答	名(%)

(3) カリキュラム全体の構成について

1. とても良かった	名(%)
2. 概ね良かった	名(%)
3. どちらかという良かった	名(%)
4. 良くなかった	名(%)
無回答	名(%)

(4) カリキュラムの割合について

	講義の割合	演習の割合
1. 多かった	名(%)	名(%)
2. 良い	名(%)	名(%)
3. 少なかった	名(%)	名(%)
無回答	名(%)	名(%)

3. 研修の運営・環境等について

(1) 開催時期について

1. 現状で良い	名(%)
2. 早い	名(%)
3. 遅い	名(%)
無回答	名(%)

変更して欲しい月（内訳）

4月	名
5月	名
7月	名

(2) 開催期間・日数について

1. 現状で良い	名(%)
2. 長い	名(%)
3. 短い	名(%)
無回答	名(%)

変更して欲しい日数（内訳）

2日間	名
4日間	名

(3) 開始・終了時間について

1. 現状で良い	名(%)
2. 時間変更が必要	名(%)
無回答	名(%)

変更して欲しい開始時間（内訳）

8:30	名
9:00	名
10:00	名
13:00	名

変更して欲しい終了時間（内訳）

14:00	名
15:00	名
15:30	名
17:00	名
17:30	名

(4) 研修内容及び学習環境についての個別意見（重要な意見についてアンケートから抜き出し、必要に応じてコメントを加える）

4. 個別評価表の集計結果（別紙参照）

5. 修了時評価についての総括

評価方法	
------	--

評価結果	
------	--

6. 総括

主任の総括的なコメント	
<全体的な総括>	
<個別評価・演習等のコメント>	

前年度の「次年度に向けての改善点」	
-------------------	--

本年度の改善点	
---------	--

来年度に向けての改善点	
-------------	--

分野小委員会のコメント	
-------------	--

(参考)

事務管理面で気づいた点	
主	
任	
担	
当	
係	

研修の情報源

	初めて知った情報		決め手となった情報	
	名	(%)	名	(%)
ア. 募集要項 (冊子)	名	(%)	名	(%)
イ. 科学院ホームページ	名	(%)	名	(%)
ウ. 通知	名	(%)	名	(%)
エ. アの募集要項 (冊子) 以外の案内	名	(%)	名	(%)
オ. 雑誌などの媒体	名	(%)	名	(%)
カ. 科学院の職員	名	(%)	名	(%)
キー①職場関係者 (上司)	名	(%)	名	(%)
キー② (本研修の受講者)	名	(%)	名	(%)
キー③ (他の研修の受講者)	名	(%)	名	(%)
キー④ (その他の職場の同僚)	名	(%)	名	(%)
ク. その他	名	(%)	名	(%)
無回答	名	(%)	名	(%)

その他の情報源 (内訳)

